

市議会だより おおまち

190号

令和5年5月1日発行

3月定例会号



議会だよりライブラリーで過去の
議会だよりも見ることができます



特集 | 3月定例会

令和5年度予算可決…… 2～4ページ

みんなのひろば…………… 16ページ



元気な1年生に期待

4月7日、桜の花が満開のなか新大町中学校の開校式と入学式が行われ、真新しい制服の元気な1年生に未来を感じました。 撮影者：大厩富義編集委員

特集

3月定例会 令和5年度予算

しっかり見守り
チェックしていきます

可決

3月定例会で審議した令和5年度の主な事業と予算をお知らせします。

一般会計 173億5,900万円(対前年比0.2%増) 企業・特別会計 126億2,074万円(対前年比4.6%増)

企業会計 水道事業/温泉引湯事業/公共下水道事業/農業集落排水事業/病院事業
特別会計 国民健康保険(事業勘定・八坂診療所・美麻診療所)/後期高齢者医療/公営簡易水道

八坂・美麻 ケーブルテレビ網を 光化へ 3,723万円

■伝送路老朽化への対応に加え、4K8K放送の視聴環境を整備する実施設計の業務委託予算

工場等誘致 振興条例に 基づく助成事業 3億8,396万円

■市内で増設した企業等の投下資産分、固定資産税相当分に対する助成

大町総合病院 (企業会計) 持続可能な地域医療を確保 58億7,806万円

■市立大町総合病院は、令和5年度から令和9年度までの期間を対象に、持続可能な地域医療を提供するため「市立大町総合病院経営強化プラン」を策定した。



大町市民の健康を支える大町総合病院

- 年間患者数 入院63,318人
外来99,423人
- 信大医師派遣 2,100万円
- 医療機器購入 5,000万円

公共下水道事業会計 (企業会計) 17億9,093万円

■有収水量1,727千³m

公共下水道	1,258千 ³ m
常盤	438千 ³ m
仁科三湖	31千 ³ m

- 内水氾濫ハザードマップ作成委託料 ……2,500万円
- 浄水センター機械設備等改築及び更新実施設計業務委託料 ……3,500万円

やしろ公園 大型遊具を更新 1,500万円

■公園の長寿命化修繕工事として、やしろ公園の大型遊具の改修工事を実施



子どもたちの安全のための修繕工事

市直営の地域包括支援 センターは廃止決定

■令和5年度予算(委託料)
1,300万円増の4,500万円余

- 民間委託の南部・北部支援センターとなり、担当地区が変更
- 大町総合病院と市社会福祉協議会へ相談窓口の設置
- 市役所福祉課でも相談できる



南部地域包括支援センター(常盤)

国民健康保険 特別会計 32億1,708万円



今年度予算で、八坂支所の横に新築移転する診療所

■一般被保険者5,549人
特定健診、特定保健指導事業の推進
自己負担1,200円の無料化を継続

- 八坂診療所の新築移転 1億2,191万円
- 八坂、美麻両診療所の運営

次ページは、特集と一般質問

一般質問

一般質問は「代表質問」と「個人質問」があり、代表質問には、各会派の代表が行う「会派代表質問」と、委員会の代表が行う「委員会代表質問」があります。

3月定例会 令和5年度予算可決 特集

<新たに取組む主な事業>

森林林業中長期ビジョン策定委託業務	北アルプス圏域の林業振興及び森林の公益的機能の持続的発揮に向け、市町村の課題と実施計画を明確にし、効果的な取組の数・内容を増やすことを目的に行動計画を策定する。	1,306万円
地域人口分析等業務委託	人口分析・将来人口推計・人口安定化シミュレーション、職員研修等を実施する。	154万円
地域公共交通活性化協議会負担金	地域公共交通計画策定にあたり、法定協議会を設置	737万円
インバウンド誘客貸切バスツアー助成事業	貸切バスを利用したインバウンドツアーを受入れる市内の宿泊施設に助成する事業(市プロモーション委員会への負担金)	500万円
八坂診療所移転新築工事	国民健康保険特別会計直診勘定運営費。老朽化した診療所を建て替え、地域医療の確保を図る。	1億2,191万円
新生児聴覚検査の公費負担	先天性難聴は早期発見で、適切な医療支援を受けることができ、言語能力を獲得するためにも、新生児全員が検査できる体制を整備する。	78万円
小学校再編環境整備事業	大町・平地区新小学校再編に伴う施設改修等工事の実施設計業務	3,600万円
文化会館特定天井耐震化工事実施設計	文化会館の大ホール及びホワイエについては、耐震改修の努力義務が課されていることから、天井耐震化及びLED化の実施設計を行う。	1,200万円

<実施中の主な事業内容をより充実>

北アルプス国際芸術祭実行委員会負担金	北アルプス国際芸術祭実行委員会負担金	5,050万円
ごみ処理広域化推進事業	白馬リサイクルプラザの建設工事が令和5年度へ先送りになったことに伴う増額及び旧環境プラント解体事業	3億8,396万円
景観計画策定支援業務	歴史的な町並みや自然景観など、地域の個性や特性を活かした良好な景観形成を図るための計画策定を支援する業務。	500万円
ゼロカーボン住宅推進リフォーム支援事業	家庭部門における二酸化炭素排出量の削減と動機づけを進めるとともに、地域経済の下支え、活性化を図る。	2,500万円

<北アルプス連携自立圏(広域連携)>

関係人口創出事業	当圏域や山岳ファンにターゲットを絞った関係人口の創出、拡大を図るため、圏域のポータルサイトを活用したコンテンツの提供及びWEB新聞のネットワークを活かし、SNSやユーザー参加型の企画等を通じ、訴求効果の高い施策を展開する。	1,204万円
障がい者相談支援事業	障がい者相談窓口を設置して、障がい者に関する様々な相談への対応や各種支援を行う。	1,267万円
病児・病後児保育運営事業	病気にかかり、かつ保護者の勤務等により家庭で保育を行うことが困難な圏域内の乳児・幼児を対象として病児保育を行う。	1,000万円

特別会計・企業会計

特別会計名称	令和5年度予算	前年度比	企業会計名称	令和5年度予算	前年度比
国民健康保険	32億1,708万円	+5.6%	病院事業	58億7,806万円	+7.3%
後期高齢者医療	4億2,745万円	+5.7%	水道事業	7億8,514万円	+0.9%
公営簡易水道事業	2億7,110万円	+18.2%	温泉引湯事業	7,939万円	△9.3%
			公共下水道事業	17億9,093万円	△4.2%
			農業集落排水事業	1億7,155万円	+1.6%

不登校の理由は「分からない」が多いが対応は



政友クラブ 岡 秀子

不登校の実態と対応及び課題は

答 昨年度中学校で40名に増加。居場所と相談員を配置

Q 当市の児童生徒の実態は。

A 令和3年度小学校21名。中学校26名。本年度小学校は4名。中学校は40名に増加し顕著となった。

Q どのような対応となるのか。

A 予防と早期発見、対応を第一



大町中学校として開校する旧仁科台中学校は不登校解消となるか

として。学校指導主事とスクールソーシャルワーカーが各校訪問し、子育て支援課の家庭児童相談員と連携し、家庭への支援に繋がっている。

Q 理由は「分からない」が多い。将来への漠然とした不安、無気力、自己肯定感が少ない等課題への対応は。

A 義務教育の9年間を通じ自らの成長を記録する「キャリアパスポート」による自己有用感の育成に努めている。新年度開校する大町中学校では、教育相談室を設け、生徒の相談に専任の心の相談員を配置する。不登校傾向の生徒の居場所として、中間的教室を設け、県教委の加配を得て、専任の担当教員を配置する。欠席が長期に亘る場合、医療機関や児童施設、スクールカウンセラー等で支援チームを組み、将来の自立に向け保護者と協力し、着実に個別具体的な支援に努めていく。

Q 不登校を含めた、子育て全般の困り事に行政はどう寄り添うのか。

A 学校は協働の学びを進めている。コミュニティスクールを通じて保護者と地域住民と協力して、社会的な課題を解決していく体制の構築が、教育の重要な役割である。

用語解説

※1キャリアパスポート
…自らの学習状況等を振り返りながら、自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫された成長記録

市民目線に立った市政運営が求められる



無所属クラブ 大和 幸久

破綻した太陽光事業者の対応は

答 事業を引き継ぐ事業者決定まで対応できない

Q 破綻した事業者の実態把握や追跡調査が必要だ。対応は。

A 工事中のもの2件、未着手5件ある。事業者が変わった時点で指示・指摘は可能と判断する。

Q 今回の事態を受けて新たな条



事業者が倒産した太陽光発電施設

例や要綱を検討すると言う。どのような問題意識があるのか。

A ①曖昧な計画内容を認めない。②設置届を14日前にのぼす。③罰則規定を設けるなど。を検討している。

Q 破綻したイズナアラの施設では①義務である排水溝が設置されていない。②パネルの位置が変わっていること。③パネルの位置が変わって発電を開始していたことに気づかないなど、極めてさまざまな市の対応だ。市民から「市は事業者の立場で仕事をしているのか」という指摘がある。行政の「市民本位の立場」の仕事が求められる。

A 住民に寄り添った対応を行なうよう指示している。

〔大町市会計年度任用職員(臨時職員)の待遇改善は本物が〕

Q 国の方針で臨時職員制度から会計年度任用職員制度に変わった。大町市にはどのような課題があるか。

A 国の新制度では期末手当を支給し、段階的に引き上げるようにという指示だ。現在、長野県下19市の中で大町市は1ヶ月で下から2番目に低い。

Q 一般事務の比較では令和4年の他市の水準と同じだ。

A 他市に遅れないよう取り組む。



市民クラブ 大町 富義

参加しやすい芸術祭の開催を

答 次回芸術祭は、準備段階から様々な方法を模索する

Q 3回目芸術祭の開催について具体的な考えは。

A 地域の交流の場や、市民同士の交流ができる場とする。

Q どうやって市民に参加してもらうかが課題だ。あと、1年半の準備期間の具体策はあるか。

A 早い段階で、様々な形で参加できる工夫をしたい。

Q 十日町市の大地の芸術祭では、客観的なデータを公表して総括している。次回の開催はどうするか。

A 準備期間の間に芸術祭に触れる機会や、耳にする機会を増やす取り組みをしたい。

Q オール大町とは、どういう取り組みのことをいうのか。

A 行政と市民、事業者が一体となった取り組みだ。

Q 食で言えば、秋の大町にはリンゴやコマ等の農産物も豊富にある。これらを活用する考えはないか。

A 食の取り組みには、地域の経済向上やおもてなしという2面があり、大切に組み込みたい。

Q 子どもから高齢者まで参加となれば、子どもたちの絵からフォトコンテストなどいろいろあるか。今回の取り組みはどう考えているか。

A それぞれの持っている主体性を大事にして、一緒に取り組んでいけるような体制にしていきたい。

Q 1年半の準備期間の中で、オール大町に向け何をやるのか。

A 全体計画の中で、何をやるかを判断し、取り組んでいく。



地元作家 布施知子さんの作品を熱心に見学(第2回芸術祭)

準備期間の具体策はあるか。

A 早い段階で、様々な形で参加できる工夫をしたい。

Q 十日町市の大地の芸術祭では、客観的なデータを公表して総括している。次回の開催はどうするか。

A 準備期間の間に芸術祭に触れる機会や、耳にする機会を増やす取り組みをしたい。

Q オール大町とは、どういう取り組みのことをいうのか。

A 行政と市民、事業者が一体となった取り組みだ。

Q 食で言えば、秋の大町にはリンゴやコマ等の農産物も豊富にある。これらを活用する考えはないか。

A 食の取り組みには、地域の経済向上やおもてなしという2面があり、大切に組み込みたい。

Q 子どもから高齢者まで参加となれば、子どもたちの絵からフォトコンテストなどいろいろあるか。今回の取り組みはどう考えているか。

A それぞれの持っている主体性を大事にして、一緒に取り組んでいけるような体制にしていきたい。

Q 1年半の準備期間の中で、オール大町に向け何をやるのか。

A 全体計画の中で、何をやるかを判断し、取り組んでいく。



神社 正幸

廃校の有効利用は早期に計画を

答 公式な活用方法等の策定にまでは至っていない

Q 北高跡地や小中学校統合による、廃校利用に大町市再生の鍵が隠されている。市民提案を募り早期の活用を進めるべきだ。

A 小学校3校の廃校は令和8年で、新校開校状況を見通した上で、



東小校舎には、美術大学サテライトキャンパス誘致で若者増を

で検討する。

文部科学省の跡地活用についての「廃校プロジェクト」の情報や支援なども検討し、市民の意見を聞き、市の振興策全体の見地から幅広い活用を検討していく。

〔市職員の職場改善を〕

Q 若い職員の長期休暇があると聞く。職場環境を改善し、モチベーションをたもつ改善がなければ、市民サービスや、市発展のアイデアなどは生まれない。特に若い職員の羽ばたける庁内環境であってほしいが改善策は。

A 職員が生き生き働くためにも職場環境の健全化が大切であり、職員同士のコミュニケーションの活性化や上司のマネジメントも重要である。職員の悩みなどには専門職員を配置しサポートして、風通しの良い、心理的安全性が確保された職場の構築に努め、若手職員の幸福度向上に努めたい。

人事異動は自己申告書に基づく希望や人事評価を参考にキャリアアップにつながるよう適材適所の配置を行い、市民サービスに努める。

用語解説

※2…地方へのサテライトキャンパス設置等に関するマッチング支援ポータルサイト



市民クラブ 中牧 盛登

市民の関心度を調査検証して実施する判断を

答 市民代表である議会が予算を認めている。実施しない

Q 共産党大町市委員会は全世帯向けにアンケートを配布して、360通の回答を得た。多くの意見として「市民参加の目的なら全世帯に意向調査を」とある。

A 議会において審議していること

Q 共産党大町市委員会は全世帯向けにアンケートを配布して、360通の回答を得た。多くの意見として「市民参加の目的なら全世帯に意向調査を」とある。

A 議会において審議していること



芸術祭に対する市民アンケートの評価グラフ

とが市民の意見と受け止めている。

Q アンケートには「2億円もの税金をつぎ込んで実施することは、市の事業としてふさわしくない」とする人が70%ある。

A 地域の活性化や交流移住の促進の目的で総合的な判断で3回目の実施を決めた。

Q 2回にかかわる経費が5億円かかっている。1作品ごとの作家に支払われている単価を明らかにすべきではないか。

A 作品の単価は作家の評価につながり、正当な利益の侵害にあたる。

Q 税金を使っている以上、公表すべきだ。

A 北川フラム氏の指示である。

〔市直轄の地域包括支援センター廃止はなぜか〕

Q 民間活力として南部と北部に事業を、丸投げするとしている。問題はないか。

A 市役所内の支援センターは専門職の不足による廃止。南部と北部は管轄が多くなり、範囲が広くなる課題がある。

Q 議会の事務事業評価で「継続」との提案をしている。議会軽視だ。

A 人材確保ができず事業継続できない。

Q 議会の事務事業評価で「継続」との提案をしている。議会軽視だ。人材確保ができず事業継続できない。



市民クラブ 中牧 盛登

大学誘致。県は方針示したが

答 後れを取らないよう準備を進める

Q 県は、若者の県外流出を阻止し、若者の定住者を増やしたいとして、新年度予算に大学誘致に向けた調査研究事業費、500万円を計上した。高校生が進学を希望する学科や企業が望む人材等を把握したいと

目指したい、きらりと光る名寄市立大学



目指したい、きらりと光る名寄市立大学

している。そして、調査結果については、県外の大学や誘致を希望する市町村に提案したいとしている。このように、県が大学誘致に乗り出す方針を固めたことに対して、市としての考えは。

A 市としては、県の動向を注視し、候補地の募集が行われる場合には、それに応じ、積極的に受け入れの検討を進める。

Q 検討を行う所はどこか。

A 現在、企画財政課で誘致に向けた取り組みとして、*2ポータルサイトに正式に登録し、大学等の情報収集に努めている。

Q 後れをとらないように準備を進めるとい考え方でよいか。

A 情報収集して、後れを取らないよう準備を進める。

〔中学校部活動の地域移行について〕

Q 当市の中学校部活動の地域移行に対する現在の検討状況は。

A 中学校の部活動は、当面、生徒と保護者からなる準クラブ会を組織し、準クラブの責任において行うこととした。

Q 当面とはいつまでのことか。

A 3年〜5年の間に地域移行できればと考えている。



政友クラブ 山本みゆき

松糸道路とこれからのまちづくりについてはどのような道か

答 長い間待ち望んだ地域経済を支える必要不可欠な道路

Q ルートを一本に決めるのはいつか。

A この道路を待ち望む多くの皆様や現ルート帯案の影響を懸念される皆様への具体策を検討するため早期選定に向け県とともに取り組む。



松糸道路の理解を深めていただくため、オープンハウスを開催

Q 松糸道路の整備によって産業や経済にどんな変化や波及が起る可能性があるか。

A 高速交通網の整備により、当地域へのアクセスが向上し、交流人口の増加により賑わいの創出につながり、観光産業をはじめ幅広い業種における活性化が期待できる。また高速インターチェンジまでの時間が短縮され物流は迅速化し、製造業や農業の生産活動、新たな企業誘致など、大きな利点となる。

Q 少子高齢化は急速に進んでいる。地域に体力があるうちに松糸道路を中心とした新しいまちづくりのビジョンを市民の皆さんと共有し、主体的にまちづくりに参加していただくことが大町市の持続可能な発展となるのではないかと市長の考えを伺う。

A 地域課題を解決するための社会基盤として松糸道路を一日も早く整備することが重要な責務である。大切なのは地域を心から愛し地域づくりに力を尽くす人材の育成と、まちづくりへの市民参加が極めて重要。民間と行政がビジョンを共有し、松糸道路を核とする未来のまちづくりに主体的に参加いただける仕組みづくりを進める。

用語解説

※3メディアリテラシー教育
…児童や生徒がICTを活用して学習課題解決の手段や方法の為に、自ら収集した情報の正確さや情報の意味について正しく理解させる教育



政友クラブ 一本木秀章

子育て支援ではどうなっている

答 大町市子ども・子育て支援事業計画で環境の整備を実施

Q 子ども達の情報モラル教育の現状と課題は。

A 学校のICT化により、児童・生徒の操作技術は急速に向上した。その為、学校におけるメディアリテラシー教育が極めて重要な指



情報モラルで困ったら、自分で考えずに、いろんな人に相談して

導項目である。児童生徒のスマートフォンなどの情報機器の所持率が年々増加し、家庭でのルールづくりが大変重要な課題である。こうした急激な情報化の進行を踏まえ、教育委員会では学校と協力して、児童生徒や保護者などに対して、情報機器の正しい使い方や、家庭内での使用に伴う約束等について、独自に啓発資料を作成し、講演会や研修会などを通じて啓発活動をしている。

Q ネットでの子供の心の問題は。 A 学校での指導だけでは限界があり、補導員や育成会活動、人権教育等を通じ、広くネット社会の危険性について啓発し、特に保護者に対しては、授業参観などの機会を活用し、情報モラルの徹底と情報機器の危険性について再認識してもらい、家庭において、きめ細やかな取組みを要請している。

Q 働く女性のための子育て支援は。 A 新年度未満児の途中入所希望者が倍増し、保育士不足が深刻な問題となっている。この様な厳しい状況を踏まえ、受け入れ体制の拡充を図る。



でんりゅう 健

中等軽度難聴者へ支援の手を

答 市独自の支援策として早期に実現するよう検討する

Q 難聴者補助事業への要望、対象について実情調査はしたか。

A 昨年11月に開催したシルバークーパルや介護予防教室の参加者を対象に補助制度創設の要望を調査した。日常会話等が聞こえにくい方

の46%は補聴器使用を希望し、そのうち82%の方は補助を希望していた。 Q 耳の聞こえにくさは自身では気づきにくい。特定健診の際の検査項目に加えることはできないか。 A 特定健診における聴力検査の実施は予定していない。 Q 学校では、毎年1・2・3・5年生が聴力検査をしている。学校でできるのであれば特定健診でもできるのではないかと。 A 今後検討していきたい。

Q 補聴器をつけることで、周囲の方は大きな声で話すなど、気がかたてられることもある。また、補聴器は装着後慣れるまで時間を要することもある。正しい知識や必要性について周知啓発すべきだがどうか。 A 介護予防教室等を通じ、高齢者自身や家族が、本人の難聴に早期に気づいて対応できるよう周知していくことは必要。補聴器の正しい知識や必要性についても周知・啓発していく。

Q 補聴器に対する助成金を早期に実現する考えはあるか。 A 国や県に先んじて、大町市独自の制度として、早期に創設できるように検討する。



難聴は、本人が気づかぬうちに進行する。早期の装着が大事



政友クラブ 中村 直人

新設の観光戦略会議とは何か

答 専門家・市内業者等で組織。新たな観光振興を目指す

Q 次年度は当市の基幹産業である観光業、一転攻勢の年にすべき。市内飲食店、宿泊施設の食事メニュー等の外語化を進められないか。

A 訪日外国人の回復が見込まれる。プロモーション委員会で調査を



県下での、多様な働き方がテーマの会。当市から県内最多の出展者

し、受け入れ体制の強化を図りたい。 Q 松糸道路の建設後は、商店街西側の道路等の交通量は減る。サイクリストの増加を背景に、自転車道としての役割を強化し、街中への誘客を図れないか。 A 市内、市外の自転車愛好家の意見を伺い検討を進めていく。

Q 以前提案した、当市の自然景観を守る景観条例に向け、景観計画の策定が進められる。計画は。 A 有識者や市民等で構成する検討委員会を設置、概ね3年間で進める。令和8年4月からの施行を予定。 [誰もが暮らしやすいまちづくり]

Q スキマ時間での働き方が出来る、テレワーク事業の需要は今後益々高くなる。どう推進するのか。 A 保育園等で保護者にアンケートをし、雇用人数を増やした。新年度は小・中学校保護者に拡大する。 Q 四年間、包括支援センターで高齢者の方とそば打ちや野菜の販売等をしてきた。元気な高齢者の活動の場を増やすことは介護予防にも繋がる。重点化できないか。

A 「通いの場」のリスト化、サービスの運営者の育成、取り組みの発信強化などを進める。



おおたけ まちこ
太田 昭司

保育士の人材確保・処遇改善は喫緊の課題だ

保育士の処遇改善への考えは

答 新年度から会計年度任用職員の期末手当を2ヶ月分に

Q 市内保育園の入所状況は。

A 5年度当初の入所児童数は347名、そのうち3歳未満児は102名。また年度中途の入所希望者は37名、その大半が3歳未満児で、例年の倍以上だ。しかし保育士の確



少子化対策としての保育サービスの充実は、今後益々重要になる

保が非常に厳しく、年度中途の受入れは希望に沿えない可能性もある。
Q 今後どのように保育の充実を図っていく予定か。
A 新たに正規職員の臨時採用試験を6月に実施する。また認定子ども園や認可外保育園と連携強化する。一時保育の利用調整や児童センター等の施設を最大限活用し受入れ体制の確保に全力で取り組む。

Q 保育士の給与アップ等、処遇の改善に取り組む考えは。
A 会計年度職員については令和3年度から3%程度の改善を行ない、新年度から期末手当の支給月数を1ヶ月から2ヶ月に引き上げる。
「不登校支援について」
Q いじめ等が原因で不登校になった場合、市外の学校への転校は可能か。またフリースクール等のみに通った場合、出席扱いになるのか。
A 転校は可能である。フリースクールにのみ通った場合も、一定の学習が行われていれば出席となる。

Q 学校内にフリースクールを設置する自治体も増えている。大町市も、ぜひ設置の検討を。
A 市教育委員会としては民間での設置を支援する方向で検討する。

国・県道の交差点部分に4つのインターを設けるとしている。3つのルート帯案は技術的な観点、まちづくりとの連携性や安全な市街地形成の他、農地や住環境への影響、地域や観光地などへのアクセシビリティに配慮し、大型都市施設や文化財などをコントロールポイントとし、洪水の浸水時にも通過可能なルートを選定しており、市が将来の都市計画に描いた観点を踏まえ、実現可能なルートとして県が責任をもって選定した、最も有力な案と理解している。
Q 盛土で道路を造るメリットは。
A コンクリート構造物に比べ施工費が安価であり、災害時の復旧が容易である。法面を緑化することで周辺の景観に溶け込みやすく、洪水発生時には浸水被害を回避できる。ボックスカルバート等の構造物の設置が柔軟かつ容易にでき、時速60kmを確保しながら地域の分断を回避しつつ、様々な交通のアクセスコントロールが可能である。



安曇野は高速道路が盛土であっても移住先としての人気は衰えず

Q 市は盛土構造及び3つのルート帯案について妥当と考えているか。
A 県が示す案は、アクセスコントロールを図りつつ、交差する道路の機能を維持する観点から盛土構造を基本とし、車道は2車線、主要な

オープンハウス成果はどうか

答 個々の意見・質問に丁寧に説明する機会となった



松糸道路、なぜ盛土？なぜこの3ルート？
おおたけ まちこ
政友クラブ 大竹真千子

Q 盛土構造を基本とし3ルート案から決定されると考えてよいか。
A 地域高規格道路として必要な機能を満たした上で、数々のステップを経て、この中から最適ルート帯が決定されるものと理解している。



みやた かずお
日本共産党大町市議員 宮田 一男

松糸道路、悩み困っている市民の声を聴け

市独自に意見聴取の場を設けよ

答 県と共に、様々な意見を伺うことが好ましい

Q 市長が松糸道路について、市民に直接説明する時期はいつか。
A 最適ルート案を決定した段階で、説明する。

Q ルート案が、決まった後では、市民に選択の余地がなく、説明では



信濃大町駅みどりの窓口廃止で、券売機の説明をする駅職員

なく説得になる。市民は決まる前に「市として住民の意見をくみ上げて、道路計画に反映させてくれ」が市民の声だ。
A 5年間で、46回1700人が参加した説明会をやってきた。今後意見も聞いていく。

Q 将来、道路を利用する若者の声を聴く姿勢で臨むべきではないか。
A 積極的にくみ上げていく。
Q 市が独自に市民の声を聴く場を設けられないか。
A 市は、事業主体ではないので、県と共に意見を聞く場を設けていくのが好ましいと考える。

「大糸線存続への課題は何か」
Q J R西と東は、松本から糸魚川までを細切れにして輸送密度を図り、千人未満の区間を廃線対象としている。市はどう考えるか。
A 大糸線は、運営会社の別なく既存の路線を接続しネットワークを形成することにより利用価値が高まる。路線全体として考えるべき。

Q 信濃大町駅のみどりの窓口閉鎖で、利用者が不便になっている。
A みどりの窓口廃止に伴い利用者の利便性が低下することがないよう申し入れをしている。

スピード違反となる。2車線も決定し、一般国道と同じものを高速交通網という言い方など甘い考えでやってもらっちゃ困る。どうか。
A (建設水道部長) 高速性を担保する観点から、高速道路を補完する松糸道路という概念である。



たかはし 正
無所属クラブ 高橋 正

松糸道市街地の「盛り土・新設」を考える

60km松糸道は一般道と同じ

答 高速道路を補完する松糸道という概念と考える

Q 建設部長は、先ほどから松糸道ができた際には高速性が担保されるとか、産業部長 高速交通網が県内を巡らせば、とか言うが、松糸道はすでに高速交通網ではなくなった。概ね60kmに決定。もし70km出したら



8時の中心商店街

Q トータルプランを作ってもらいたい。言葉ではわからない。一目瞭然の絵で示してもらいたい。
A 今未来ビジョンを策定している。やはり見える化して具現化した絵を創りたい。信濃大町100人衆会議を立ち上げた。様々な意見をいただいている。中心市街地の都市機能やエリアも見直す。現在策定中の未来ビジョンの具現化と持続可能な都市構造を形成する。
Q いくら文字を並べても分からない、まず絵にしてくれ。
A 具現化した絵を創りたい。

議員が質した3月定例会

こんなことが決まりました！

議案第23号 令和5年度大町市一般会計予算

結果 賛成多数で可決

高瀬渓谷へ登山バスを運行

登山客の利便性向上を図り、新たな誘客を推進する高瀬渓谷への登山バス運行。
■予算額 339万円

委員会審査

Q 運行期間と利用人数の見込みは。
A 運行期間は7月から10月までの週末と、登山客の多い7月下旬から8月中旬までは毎日運行する。日数60日で2000人を見込んでいる。

議案第11号

大町市地域包括支援センター設置条例を廃止する条例

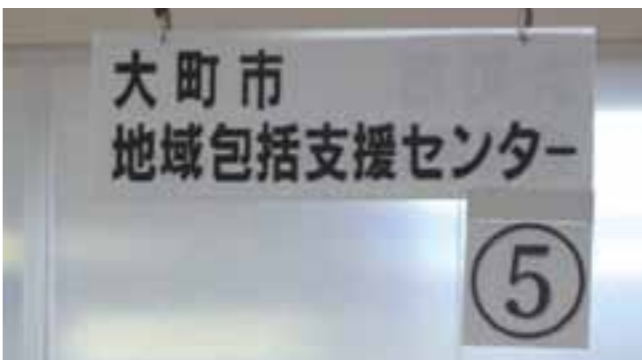
市直轄の包括支援センターの廃止

結果 賛成多数で可決

市独自で専門職を配置することが困難になってきたことなどにより、南部と北部の民間の事業所に業務を委託する。

委員会審査

Q 民間事業者の南部・北部の業務範囲が広がり業務量が増える。第9期の介護保険計画ではさらに対象者が増えることが予想される。対応は可能か。
A 事前に事業者と十分に協議をした。



廃止される市庁舎内の直轄地域包括支援センター

Q 議会における事務事業評価において、市直轄支援事業の継続を提言している。議会軽視だ。

A 議会と十分な協議を行うことが必要だった。

議案第12号

大町市中心市街地振興条例の一部を改正する条例制定について

大町市中心市街地振興条例5年延期が決定

結果 全会一致で可決

中心市街地に人を呼び込み賑わいを創出するための活性化策。令和10年3月31日まで期間を延期する。

委員会審査

Q 中心市街地振興審議会においてどのような効果検証がなされたのか。
A 条例に基づき助成したホテル、地ビール工房、飲食店はいずれも入り込み客数も多く、市街地回遊などの効果も表れ、賑わいがもたらされている。

Q 今後5年間の事業計画の予定は。
A 現時点で具体的な計画はないが、関心を持つ事業者はいる。中心市街地における新築や改築へ助成し、地域経済の活性化につなげたい。

議案第10号

大町市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について

小規模保育事業者の参入を緩和

結果 全会一致で可決

家庭的保育事業は基本的に3歳児未満の乳幼児を対象として、教育及び保育の提供を行う。

委員会審査

Q 改正により、どう改善ができるか。
A 小規模保育事業が参入しやすくなることから、民間による施設の整備が期待される。

Q 経営面の観点ではどうか。
A 今まで、任意の団体であったが基準を満たせば、公的な支援が受けられ安定した経営ができる。



3月定例会最終日討論の内容を要約してお伝えします

討論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのかなぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。

陳情第2号

松糸道路に関してまちづくりの検討の場を求める陳情

原案に反対

災害時に災害現場に一刻も早く救援の手を届ける道路であり負傷者を一刻も早く医療機関へ搬送するためのまさに「命の道」となる。(太田 昭司)
松糸道路の建設を主体的に進めるのは県である。県が高規格道路として安全性や機能性を確保して事業を行う責任があることを理解されたい。(山本 みゆき)

原案に賛成

未来の大町市にとって、どのような道路が必要か、ルートを決める前に、市が市民と一緒に考える場が必要である。(宮田 一男)

木崎湖北のルート案について、未だに何の説明もない。大町市として、まちづくりなどの様な影響があるか検討すべきだがやらない。(大和 幸久)

陳情第3号

北アルプス国際芸術祭「第3回開催」について、市民へのアンケート調査等の検証で見直しを求める陳情

原案に反対

経済効果、若者への訴求力など、高い効果を出している点を伸ばしつつ、今は市民との協働等、課題のある点において取り組むべき時期。(中村 直人)
芸術祭は地域課題に市と市民が丸となって取り組む機会。地域の魅力を最大限に活かして人流と経済の回復を目指し開催すべき。(山本 みゆき)

原案に賛成

今後、芸術祭を継続し、若者だけでなく、市民の声だけでなく、参加していない市民の声を聴く、アンケート等を実施すべき。(宮田 一男)
運営する実行委員のアンケートで良い評価とするのは市民をないがしろにするもの。無作為に抽出した統計上有意なアンケートを実施。(大和 幸久)

次ページは、討論と審議結果

令和5年3月定例会 提出案件の審議結果

議案・陳情の原案に対して「賛成は○」「反対は●」で表示
議長は議事進行のため「賛成」「反対」の意思表示はしない
(可否同数時を除く)

◇賛否が分かれた案件

議案番号等	案件	議員											結果				
		日本共産党	無所属	根柢クラブ	政友クラブ				公明	無所属	無所属	無所属					
議案第7号	大町市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案可決
議案第11号	大町市地域包括支援センター設置条例を廃止する条例制定について	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第23号	令和5年度大町市一般会計予算	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第27号	令和5年度大町市水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第29号	令和5年度大町市公共下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第1号	大町市議会の個人情報の保護に関する条例制定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
陳情第1号	無実の人が犯罪者として処罰される現実を改善するために「刑事訴訟法(再審法)改正を求める意見書」の提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第2号	松糸道路に関してまちづくりの検討の場を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第3号	北アルプス国際芸術祭「第3回開催」について、市民へのアンケート調査等の検証で見直しを求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択
陳情第4号	最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書提出について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

◇全会一致で承認・可決・同意された案件

議案番号等	案件	結果
報告第1号	専決処分の報告について専第1号 令和4年度大町市一般会計補正予算(第11号)	承認
議案第1号	大町市及び池田町における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	原案可決
議案第2号	大町市及び松川村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	原案可決
議案第3号	大町市及び白馬村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	原案可決
議案第4号	大町市及び小谷村における北アルプス連携自立圏形成に係る連携協約の一部を変更する協約の締結の協議について	原案可決
議案第5号	大町市職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第6号	大町市特別職の職員の旅費又は費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第8号	大町市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第9号	大町市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第10号	大町市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第12号	大町市中心市街地振興条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第13号	大町市女性未来館ピュア設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第14号	大町市立学校体育施設使用料徴収条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第15号	市立大町山岳博物館条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第16号	大町市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
議案第17号	令和4年度大町市一般会計補正予算(第12号)	原案可決
議案第18号	令和4年度大町市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第19号	令和4年度大町市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第20号	令和4年度大町市公営簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第21号	令和4年度大町市水道事業会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第22号	令和4年度大町市病院事業会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第24号	令和5年度大町市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第25号	令和5年度大町市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第26号	令和5年度大町市公営簡易水道事業特別会計予算	原案可決
議案第28号	令和5年度大町市温泉引湯事業会計予算	原案可決
議案第30号	令和5年度大町市農業集落排水事業会計予算	原案可決
議案第31号	令和5年度大町市病院事業会計予算	原案可決
議案第32号	令和4年度大町市一般会計補正予算(第13号)	原案可決
議案第33号	教育長の任命について	同意
議案第34号	公平委員会委員の選任について	同意

議案第7号
大町市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について

原案に反対
昨年の比較で、大町市は県下19市中、下から2番目だ。県下19市の中間程度をめぐすべし。再任用3年などの制限を廃止すべきだ。(大和 幸久)

原案に賛成
据え置かれていた会計年度任用職員の期末手当がようやく増額される。また緩和により期末手当の対象者も増える。人材確保に必須だ。(山本 みゆき)

議案第11号
大町市地域包括支援センター設置条例を廃止する条例制定について

原案に反対
地域包括支援センターは、要支援の人たちの介護予防の重要な役割を担う。民間の北部・南部を指導する市直営のセンター廃止は反対。(平林 英市)

原案に賛成
養成に10年を要するケアマネ等、有資格者の育成を行政で行うのは困難。新設の係で統括機能を維持しながら事業の推進に努めよ。(中村 直人)

議案第23号
令和5年度大町市一般会計予算

原案に反対
北アルプス国際芸術祭実行委員会の収入が主として市負担金に頼っているのは異常である。実施形態を抜本的に改めることを求める。(宮田 一男)

原案に賛成
第2回の芸術祭には市民参加が30%だ。市民参加というなら全市民に対してアンケートの実施をして3回目芸術祭の検証をすべきだ。(平林 英市)

原案に賛成
観光の再生、切れ目ない子育て支援、自然を活かした街づくり等、市長の信念が反映した予算。市民の声に寄り添う展開を期待する。(中村 直人)

原案に賛成
国際芸術祭は開催の意義など理解を得られるよう努力し、コロナからの克服に向けビジネスチャンスとなるよう準備を進めるべき。(大竹 真千子)

原案に賛成
人を育むための増強事業の実施に当たり、スピード感と目に見える成果を上げ、長期的な人づくりと地域経済の立て直しに期待し賛成。(岡 秀子)

原案に反対
松糸高規格3ルート案は立地適正化計画の区域内で、重なる都市計画などで、最初から検討が必要であった。実施しない予算に反対だ。(大和 幸久)

議案第27号
令和5年度大町市水道事業会計予算

原案に反対
崩壊水道施設には、設置する義務があるフェンスが無く、管理用道路の一部は民間の土地を無断で使用している。管理者として失格だ。(大和 幸久)

原案に賛成
古くから利用してきた水資源を絶やさず引き継ぎ後世に残すべく、しっかりと守っていくことが責任であり市の水道事業の使命だ。(山本 みゆき)

陳情第4号
最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書提出について

原案に反対
最低賃金は労働者の生活、最低必要な賃金だけでなく、雇用する側の支払い能力も考慮して、最低賃金法を全国一律制度にする事には反対。(二本木 秀章)

原案に賛成
国民の消費購買力を高め日本経済の回復を進めるためには、最低賃金の底上げと中小企業支援をセットで行うことが必要である。(宮田 一男)

原案に賛成
中小企業の賃上げを可能にするには、国が社会保険料を賃上げに応じて軽減する措置を取ることが最も効果的。内留留保課税で実現を。(大和 幸久)

議案第29号
令和5年度大町市公共下水道事業会計予算

原案に反対
市は本格的な施設更新は30年先だが資産維持費を導入する。これは使用料金の26%を占め、料金を25%引き上げる要因だ。説明を尽くせ。(大和 幸久)

陳情第1号
無実の人が犯罪者として処罰される現実を改善するために「刑事訴訟法(再審法)改正を求める意見書」の提出について

原案に反対
司法全体のあり方、刑事訴訟法、関連法規等の知見を持たない地方議会では審議すべき内容を越えており判断できない。原案に反対。(大和 幸久)

原案に賛成
法律等の専門的な知識を持たない地方議会の議員たちが勝手な判断をし、意見書を出すなどということは、あってはならない。(太田 昭司)

原案に賛成
袴田事件の東京高裁で再審の判決がでた。検察側の特別抗告で長い闘争しめられた。再審判決なら特別抗告の禁止をすべきであり、願意は妥当。(平林 英市)

原案に賛成
無実の人が冤罪に苦しむ事態をなくすためにも法整備が必要。議会が意見書提出権を活用し、国に意見書を書ける事は重要である。(宮田 一男)

次ページは、みんなのひろば

みんなのひろば

大町中学校
新3年生に聞く

議員が市民のみなさまの声を取材してつくるみんなのひろばです。

この4月に、「第一中学校」と「仁科台中学校」が統合され、新たに「大町中学校」が開校しました。今回は、新中学校の新3年生に、新しい仲間と始まる学校生活について、期待すること、楽しみにしていることなどを聞きました。

- 1 所属している部活など
- 2 好きな教科
- 3 大町中学校に期待すること・楽しみにしていること
- 4 将来の夢

- 1 吹奏楽部
- 2 英語
- 3 どんな文化祭になるか楽しみ。また、新しい教室で新しいクラスメイトと受ける授業が楽しみ。
- 4 料理関係の仕事に就きたい。小学生の頃は休日にお母さんと一緒に料理を作り、今は自分で料理の腕を磨いている。



ふじわら そうた
藤原 奏太さん
(大町)

- 1 剣道部
- 2 数学
- 3 新しい友人と過ごす新しい学校生活。また、最後の一年、新しいメンバーで活動する部活動。
- 4 看護師になりたい。お母さんが看護師。小学校の時に、人を助けるお母さんの仕事を見て、看護師はかっこいいと思った。



きたざわ そうた
北澤 蒼大さん
(平)



わしざわ ゆあ
鷺澤 優亜さん
(社)

- 1 バレーボール部
- 2 理科
- 3 生徒の数が倍になり、新しい友達ができること。また、新しい仲間で開催する文化祭も楽しみ。
- 4 特に決まっていないけど、一度は大町市を出て色々な経験をしてみたい。そしていざ大町に帰ってきたい。



あらい せつや
荒井 颯也さん
(常盤)

- 1 男子ソフトテニス部
- 2 国語
- 3 一中出身者と仁科台出身者から色々な意見が出ることで、より良い学校になってほしい。
- 4 高校に入ってから決めたい。将来は大町に住みたいけれど、大町を離れて新しいものに触れることも経験したい。

次回6月定例会予定

- 開 会 6月 5日(月) 午前10時～
- 一般質問 6月15日(木)～19日(月)
- 最 終 日 6月27日(火) 午前10時～
討論・採決

傍聴にお越しの際は

- 傍聴をご希望の方は議会棟2階の議会事務局で申込書をご記入ください。

インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。録画・再放送もご覧いただけます。

本会議の
生中継

大町市議会 議会中継

あとがき

7人の委員で四苦八苦しながら編集してきた市議会だより。本号で今期最終となる。若いのに結構大人の大竹真千子副委員長。大きな目玉でこちらをじっと見つめて、思いを語る傳刀健君。紳士で真摯、気遣いの太田昭司君。いつも明るく軽妙な宮田一男君。きれいな白髪でとつとつと、机に向かって自説を語る平林英市君。夢中になって、編集・校正の細部まで引っ張ってくれた大厩富義君。ほとんどの表紙写真が彼の手による。それぞれ主張の違う皆で、肩を組んで荒波を越えた。最後に協力してくれた事務局に感謝を込めて大きな拍手を送りたい。またいつか集まって盃を上げよう。今日まで本当にありがとう。(高橋)

議会だより編集委員

【委員長】 高橋正 【副委員長】 大竹真千子 【委員】 傳刀健 太田昭司 宮田一男 平林英市 大厩富義